負けないよ！秋晴れの運動会

二葉保育園（令和3年10月2日）

海陽町議会だより

９月定例会

発行　徳島県海陽町議会　TEL（0884）73－4164
編集　広報編集特別委員会　E-mail gikai@kaiyo-town.jp

おもな内容

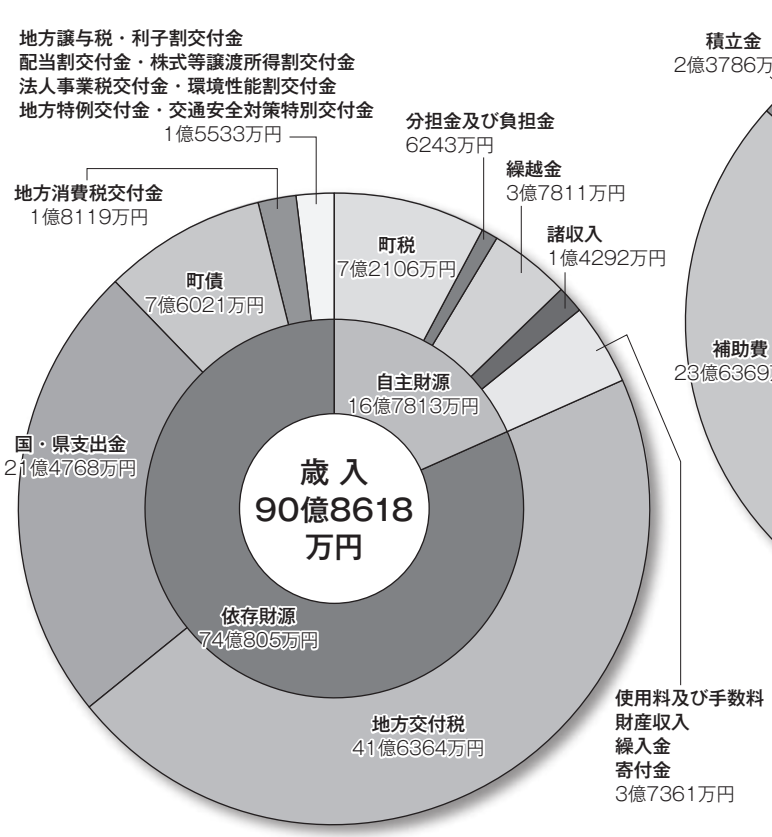
決算認定 …… 2～4P
特集記事①災害 …… 6～7P
特集記事②請願 …… 8～9P
町長行政報告 …… 16P
一般質問 …… 17～21P

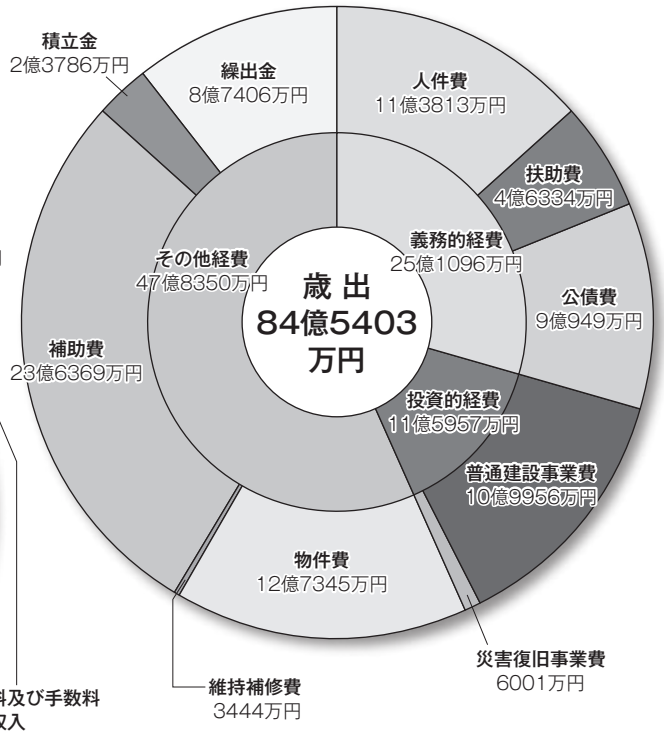
Vol. 62 (2021.11)

令和2年度 決算認定 さらに効率的な財政運営へ

令和２年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定の議案が提出され、私たちが納めた税金や、国・県からの補助金がどのように使われたかを慎重に審査した結果、すべて原案のとおり認定しました。

令和２年度一般会計　歳入・歳出決算の内訳





目的別歳出

歳出総額

84億5403万円

議会費
議会の運営など。

6725万円
(0.80%)

総務費
役場の管理運営・財産管理・地域振興対策など。

19億6514万円
(23.25%)

民生費
社会福祉や生活扶助など。

16億9652万円
(20.07%)

衛生費
保健衛生、ごみの清掃、し尿処理など。

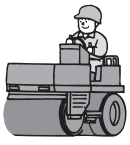
6億6432万円
(7.86%)

農林水産業費
農業・林業・水産業の振興など。

5億6474万円
(6.68%)

商工費
商業・工業の振興など。

3億6781万円
(4.35%)

土木費
道路・橋の建設、維持管理など。

7億5782万円
(8.96%)

消防費
消防・水防・防災対策など。

4億4597万円
(5.28%)

教育費
教育・文化・スポーツ施設の充実など。

7億1172万円
(8.42%)

災害復旧費
インフラ、ライフラインなどの復旧。

6538万円
(0.77%)

公債費
償還（借金返済）など。

9億949万円
(10.76%)

諸支出金
寄付金、基金積み立てなど。

2億3786万円
(2.81%)

（※金額はすべて千円以下を四捨五入しています。）

令和2年度 一般会計 85億円はどう使われたのか

海陽町発足15カ年の節目決算は、新型コロナ対策事業が主役！

監査意見

当年度の歳入総額は、90億8618万円で前年度と比べて9億2284万円の増加となっており、科目別に見ると増加したのは「国庫支出金」・「地方交付税」・「寄附金」等、減少したのは、「町債」・「諸収入」・「繰越金」等である。

地方交付税の合併算定替えが令和2年度に最終年を迎え、財政調整基金への積立額も減少してきていたが、新型コロナ対策として、国からの大規模な交付金があり、多岐に渡るコロナ対策事業の展開により、大幅な財政支出が行われた。

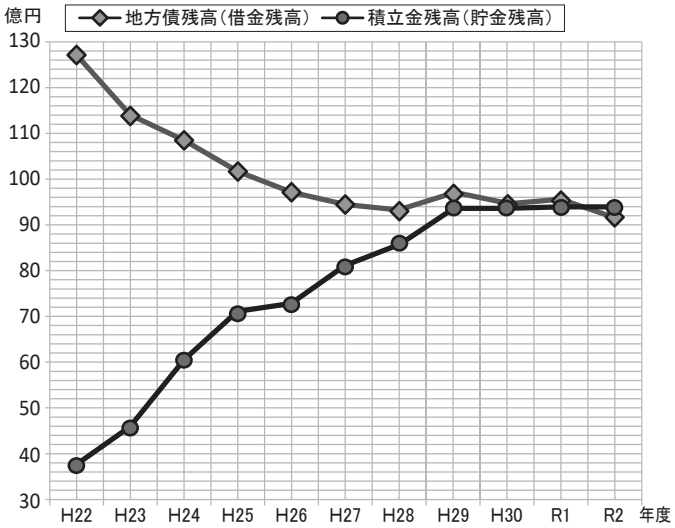
今後、大型事業の地方債償還による実質公債費比率の増加も見込まれる中、海南病院、(株)漁火、まぜのおか、海南荘など懸案事項も山積しており、健全な財政状況が、急激に悪化することも想定しつつ、危機感を持って一層の財政基盤強化に取り組まれたい。

基金残高一覧表

（単位：万円）

普通会計	財政調整基金	37億 209万円
	減債基金	18億5287万円
	特定施設振興整備基金	4億 59万円
	鉄道経営安定基金	9225万円
	地域福祉基金	2億7399万円
	子どもあゆみ基金	9億2122万円
	千年のいのちを守るまちづくり基金	13億5947万円
	その他基金	2億6582万円
	その他の主な基金	
	・ふるさとづくり寄付基金	1億1725万円
	・観光施設等基盤整備基金	2065万円
	・温泉整備開発基金	3890万円
	・森林・林業活性化基金	4313万円
特別会計	国民健康保険財政調整基金	1億7669万円
	国民健康保険宍喰診療所財政調整基金	2億 62万円
	その他基金	1億6229万円
定額運用基金	奨学金基金	2億 円
合計		96億 790万円

町の借金と貯金の推移



※積立金残高は基金残高合計から定額運用基金（奨学基金２億円）を除いた額。

会計別決算状況

（単位：万円）

会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	90億8618	84億5403	6億3215
国民健康保険特別会計	15億3348	14億9258	4090
後期高齢者医療特別会計	1億9028	1億8870	158
介護保険特別会計	15億1738	15億 723	1015
浅川公共下水道事業特別会計	5348	4793	555
海部公共下水道事業特別会計	6870	5988	882
宍喰公共下水道事業特別会計	1億8191	1億7425	766
神野農業集落排水事業特別会計	1318	952	366
川西農業集落排水事業特別会計	2994	2294	700
日比原農業集落排水事業特別会計	1225	845	380
漁業集落排水事業特別会計	2043	1786	257
鉄道経営安定基金特別会計	1億1381	1億1381	0
宍喰診療所事業会計	1億 862	7596	3266

千年のいのちを守るまちづくり基金

千年に一度ほどの地震津波から住民を守り、命の道である「海部道路」および一体的な施設整備による、地震津波災害に強いまちづくりのための基金。

簡易水道が統合され最初の決算
今後の経営状況に注視が必要！

令和２年度水道事業会計

事業収益　２億１１３６万円（+9304万円 対前年）
事業費用　１億７６０６万円（+6541万円 対前年）
純利益　３５３０万円

事業は順調に推移してきたが、令和２年４月に、簡易水道事業との統合が実施され、昨年度と比較し給水収益が４３１７万円の増加となっている。この要因は、簡易水道事業との統合に伴う水道料金の改定であるが、動力費などの費用も増加しており、今後の経営状況の推移を注視していく必要がある。

防災面から見ると、南海トラフ巨大地震等に備えた水道管の耐震化などさらなる施策が必要であり、地震・津波対策を計画的に講じることが課題となっている。

給水人口減少の中、地震・津波対策を行うには、今後さらなる財政の健全化が必要とされることは明白であり、水道事業運営が適正かつ公平・健全に行われることを望む。

吉野水源地 No.3 水中ポンプ更新工事

コロナ禍の中、
経営改善計画の履行が課題！

令和２年度海南病院事業会計

事業収益　４億９８９３万円（△1874万円 対前年）
事業費用　５億３６８８万円（△4032万円 対前年）
純損失　３７９５万円

一般会計からの繰入金が２億２９７７万円あるが、３７９５万円の赤字となっている。収益勘定繰入は、１億９２７５万円で、過去８年間で最も少なく、赤字額についても４年ぶりに減少している。

新型コロナにより、全国的に病院経営の悪化が伝えられる中、収益が改善されたことは評価したいが、経費の削減等について、医療資材の共同購入や各種委託契約の見直しなど、なお一層の取り組み強化をすべきである。

昨年12月に「海南病院改革計画」が策定され、令和４年度までの各種目標値が掲げられている。目標達成に向けしっかり取り組み、公立医療機関の役割・使命を改めて意識し、住民に信頼され、必要とされる病院となるよう改めて期待する。

第７回の海南病院改革検討委員会（R3.10.5）

第3回定例会

■議案の審議■

令和3年第3回定例会は9月13日開会。町長より21件の議案が提出され、原案どおり可決・認定。請願は不採択とし、9月21日閉会した。

条例関係

- 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 附属機関設置条例の一部を改正する条例

予算関係

注釈 ⇧増額 ⇩減額

- 一般会計補正予算(第3号) 2億6981万円⬆
- 一般会計補正予算(第4号) 4344万円⬆
- 国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 219万円⬆
- 介護保険特別会計補正予算(第2号) 372万円⬆
- 浅川公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 131万円⬆
- 海部公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 206万円⬆
- 宍喰公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 266万円⬆
- 神野農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 35万円⬆
- 川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 584万円⬆
- 日比原農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 33万円⬆
- 漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 53万円⬆
- 海南病院事業会計補正予算(第2号) 835万円⬆

決算・計画・契約

- 令和2年度決算の認定について
- 過疎地域持続的発展計画の策定について
- 町営バス車両購入契約について
  契約金額　811万円(2台)
  契約相手　徳島トヨペット(株)海部店
  納　期　令和3年9月22日～令和4年1月31日
- 消防自動車(小型動力ポンプ付積載車)購入契約について
  契約金額　1546万円(2台)
  契約相手　徳島ポンプ(株)
  納　期　令和3年9月22日～令和4年3月31日

人事関係

人権擁護委員候補者

住所　大里字松原
辻　芳昭

候補者の推薦を適任と認めました。
※ 任期は1月1日から3年間

第2回臨時会

■議案の審議■

第2回臨時会は、7月26日開会、次の2議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決し閉会した。

予算関係

注釈 ⇧増額 ⇩減額

- 一般会計補正予算(第2号) 6124万円⬆

契約関係

- AI議事録音響機材購入契約について
  契約金額　581万円
  契約相手　宝城通信(株)
  納　期　令和3年7月27日～令和4年2月28日

9月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	9月補正	補正後	構成比率
町税	0	5億7,773万8千円	7.6
地方譲与税	0	1億1,830万円	1.6
利子割交付金	0	50万円	0.0
配当割交付金	0	370万円	0.0
株式等譲渡所得割交付金	0	390万円	0.1
法人事業税交付金	0	270万円	0.0
地方消費税交付金	0	1億4,660万円	1.9
環境性能割交付金	0	350万円	0.1
地方特例交付金	0	320万円	0.0
地方交付税	5,453万円	35億3,414万5千円	46.5
交通安全対策特別交付金	0	60万円	0.0
分担金・負担金	112万5千円	6,072万4千円	0.8
使用料・手数料	0	6,194万8千円	0.8
国庫支出金	182万6千円	5億4,213万4千円	7.1
県支出金	1,517万1千円	5億3,647万6千円	7.1
財産収入	22万4千円	4,562万6千円	0.6
寄附金	0	70万円	0.0
繰入金	1億5,701万6千円	9億8,679万1千円	13.0
繰越金	3,678万7千円	1億3,355万1千円	1.8
諸収入	3,766万2千円	1億4,727万7千円	1.9
町債	890万6千円	6億8,790万6千円	9.1
合計	3億1,324万7千円	75億9,801万6千円	100.0

歳出	9月補正	補正後	構成比率
議会費	0	6,934万6千円	0.9
総務費	1,241万7千円	10億9,585万7千円	14.4
民生費	4,094万6千円	18億3,040万4千円	24.1
衛生費	2,444万7千円	8億6,744万8千円	11.4
農林水産業費	512万円	5億5,830万円	7.3
商工費	8,561万円	3億6,319万5千円	4.8
土木費	6,320万円	8億4,829万円	11.2
消防費	2,166万円	4億8,018万2千円	6.3
教育費	2,034万7千円	6億6,681万9千円	8.8
災害復旧費	3,950万円	6,875万円	0.9
公債費	0	7億3,302万6千円	9.7
諸支出金	0	223万円	0.0
予備費	0	1,416万9千円	0.2
合計	3億1,324万7千円	75億9,801万6千円	100.0

被害への対応!!

生活再建支援金　1664万円

令和３年９月８日の集中豪雨により、住宅が床上浸水により被害を受けられた方のために、「海陽町生活再建支援制度」が創設されました。

災害見舞金　30万円

床上浸水された世帯について、1.5万円のお見舞い金を交付します。

令和3年9月8日の線状降水帯発生による集中豪雨

久保川からの濁水に囲まれ浸水した住宅
（宍喰久保北田地区）

母川と堤防内側の水位がほぼ同じになり住宅が浸水
（中山居敷地区）

冠水により通行止めとなった国道55号
（四方原）

消防団に加え、県の排水ポンプ車も
応援配備された宍喰川への排水作業

線状降水帯による

知事要望

被災者支援対策

9月8日の線状降水帯の発生により、町では観測史上最大となる1時間に120ミリ、24時間雨量も484ミリの豪雨が観測され、床上18戸、床下57戸の浸水被害が発生し、農業機械や農産物、家財道具の浸水被害を受けた。特に、床上浸水があった世帯では、生活再建に要する経費が大きな負担となっている。

県においても、被災状況を勘案いただき、生活再建に係る負担軽減につき、可能な限りの支援をお願いしたい。

飯泉知事に被災状況を説明する
三浦町長、戸田議長、重清県議会議員
（令和3年9月15日）

浸水被害軽減対策

今回の浸水被害は、2014年の台風12号に次ぐ被害である。

ついては次の要望事項により、速やかな浸水被害の軽減対策をお願いする。

一．善蔵川の河川改修と堆積土砂撤去の推進及びポンプ増設

一．母川の堆積土砂撤去及び居敷地区の内水対策

一．松本排水機場ポンプ増強

浸水対策を知事に要望した、
町長、議長及び議員12名、重清県議
（令和3年10月11日）

議会のうごき

7月1日から9月30日まで

7月

1日　議会広報編集特別委員会
8日　海部川風流マラソン実行委員会
9日　議会広報編集特別委員会
13日　海部郡衛生処理事務組合臨時会（牟岐町）
徳島県議長会役員会（徳島市）
15日　議会運営委員会
議会全員協議会
議会広報編集特別委員会
26日　第2回臨時会
議会全員協議会
30日　議員公務災害補償組合臨時会（徳島市）
徳島県議長会定期総会・研修会（徳島市）

8月

5日　徳島県町村議会議員研修会（徳島市）
23日　議会全員協議会
24日　徳島県戦没者追悼式（徳島市）
31日　請願書受付

9月

6日　議会運営委員会
議会全員協議会
9日　議員協議会
13日　第3回定例会（行政報告・提案理由説明）
総務産業建設常任委員会
議会運営委員会
14日　文教厚生常任委員会
15日　議会運営委員会
災害対応に係る知事要望（徳島市）
17日　第3回定例会（決算・一般質問・議案審議）
21日　第3回定例会（議案審議・請願審議）
議会広報編集特別委員会

の請願審査

不採択と決定！

採択することに賛成　（２人）	長岡・富田
採択することに賛成しない（11人）	西山・見吉・島﨑・白濵 髙畠・原・小山・叶岡 橋本・佐川・東

「町財政の健全化に向け、海陽町議会議員定数の削減を求める請願」

請願趣旨	2005年の国勢調査人口11,507人から、2020年国勢調査人口は8,363人となり、3,144人の減、27.3%の減少率であるが、議員定数は、2014年から14名のままである。 町は、人口減少に伴い地方交付税の減額、税収の減少、また社会保障費の増額等、財政厳しい折、議会も経費削減に努めるべきであり、議員定数削減を住民の連署を持って、請願書を提出する。
請願事項	現在の議員定数14名を、１名削減し、議員定数を13名として、次期改選時から適用することを求める。
請 願 者	奥浦字新町　岡田　正　・　大里字浜崎　本田　哲朗
紹介議員	富田　　寛

議会運営委員会の審査

請願は内容により、所管の委員会に付託され、詳細に審査を行います。

本件は、議会運営委員会において紹介議員に説明を求め、質疑の後、委員間で討論を行った。

【見吉 政貴 委員長の審査報告】

① 改選まで約７カ月しかなく時期的に遅すぎる。立候補を検討している方の意欲を削ぐことになりかねない。定数削減の検討には、削減数及び実施時期、委員会の設置方法や議員報酬のあり方も含め、熟考を要するが時間的余裕がない。

② 海陽町の人口は減少しているが、面積は減らず、住民それぞれの暮らしがあり、人口比率だけで考えるものではない。

③ 議員削減のみを考えるのではなく、若い世代が出てくる議会とするため、議員報酬の見直しや兼業禁止などの改正も含め一体的に考えるものであり、定数削減だけを論議することは同意しがたい。

④ 将来的に定数削減は避けられないが、改選後の議会で充分考えていくべきである。

⑤ 請願に署名された方々の民意は、くみ取らなければならないが、人口減少を食い止めることも我々の仕事である。

以上、現時点での定数削減は無理があると指摘しながらも、今後は人口減少などを考慮するとともに、改選後の議会において、議員定数を含め、多方面から「議会のあり方」を協議・検討していくことを、現議会として申し送るが、今回の請願については、全会一致で、不採択という結果となった。

議員定数削減

本会議での表決の結果…

本会議での討論（不採択に賛成の意見）

【小山　慎 議員】 なり手不足の問題

合併前の旧３町の議員は、各12名の合計36名であったが、合併を機に20名に削減。その後も人口減少の推移、町財政の健全化への取り組みも勘案し、2010年には16名、2014年には14名と議員定数削減を議会自ら行ってきた。合併後のみでも議員削減率は32％であり、人口減少率を上回っている。議員定数は、他町と比較するべきものではなく、町の実情に合った議員定数を議論すべきである。

また、全国的に地方議員の「なり手不足」が問題になっており、定数削減をすれば、新しく議員を目指す若い世代の芽を摘むことが推察され、幅広い世代での議論が、町益につながっていくと考える。現時点での定数削減は、見送ることが適当と考える。

【橋本　朗 議員】 十分な議論がなかった

海陽町では、広大な面積の中で、住民の方々はそれぞれの暮らしをしており、地方議会の議員は町の隅々まで目を向けるべきであり、人口比率だけで考えるものではない。加えて、産業形態も様々であり、農林漁業、商工業、土木建築、医療福祉等、それぞれに精通した議員がいることは、執行部からの事業提案や予算計上にあたり、的確かつ有意義な審議に寄与する。むやみな定数の削減は執行部への監視能力を弱め、町民にとっても望ましいことではない。

今回、議会内で充分話合いのできる機会があったにもかかわらず、請願という手段で結果を求める行為は、我々の望むところではなく、十分な議論がなされなかった今回の請願は見送るべきと考える。

【原 ひろみ 議員】 監視機能が低下

定数削減をすると、町と住民の関係が遠くなり、住民の意思が届きにくくなる。また、選挙時の当選得票数が多く必要となり、ハードルが高くなる。海陽町の未来を担う若者や女性が立候補しやすい環境作りを、報酬も含めて考えるべきではないか。

議員定数については、財政改革という目に見える部分だけではなく「住民のためになる議会のあり方」を根底に据えた議論が必要である。地域間格差が生じないよう、住民の多様な意見を的確に反映させ、執行機関をチェックするため、一定数の議員が必要であり、１人減るごとに監視機能は低下し住民にとってもマイナスになると考えられ、今回の請願には賛成できない。

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生の2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを活発に審議・調査しました。委員長報告から要旨を抜粋しお知らせします。

総務産業建設常任委員会

委員長　橋本　朗

9月13日開会。八山残土処理場、旧町営住宅一宇谷団地の巡視を行った。その後、当委員会が所管する議案について、各担当課から説明を受けた。

決算認定

健全化判断比率、公営企業における資金不足比率は、健全な水準にある。

委員の問　経常収支比率が年々悪化しており、今後の人口減を見越した、人件費などの義務的経費の削減が必要ではないか。建設事業などの投資的経費について、今後どのように運営していくのか。

答　町長より「行政経費の削減に努めていく。事業精査をし、住民に理解してもらえる効果的な事業に投資していく。」

委員の問　水道料金の今後の見通しや、幹線の老朽化対策、耐震化の更新状況について。

答　毎年5千万円の範囲内で更新を行っており、今後も同規模の更新を行っていく。水道料金の引き上げは避けられず、段階的な引き上げを考えている。

八山残土処分場の入口付近で説明を受ける常任委員

条例・計画

○　附属機関設置条例の一部を改正する条例については、海陽町事前復興計画策定委員会を追加するものである。

契約関係

○　町営バス購入契約14人乗りバス2台。

○　消防自動車（小型動力ポンプ付積載車）購入契約

2台を購入。川上第4分団、海部第1分団に配備。

予算関係

○　一般会計補正予算

総務費

・DMV機運醸成事業　［200万円］

衛生費

・柱野地区水源地調査委託料　［380万円］

農林水産業費

・営農用水施設整備事業補助金　［112万円］

浅川伊勢田水利組合の施設改修補助金。

・とくしま南部地域森林管理システム推進協議会負担金　［300万円］

森林境界明確化事業推進のための負担金。

商工費

・元気プレミアム商品券事業［8296万円］

・フルマラソン大会運営費　［△2416万円］

オンラインマラソン大会への移行のため。

消防費

・B&G財団助成事業　［2100万円］

防災倉庫建設、災害時対応重機等購入や研修費。予算とは別に、B&G財団から油圧ショベル、スライドダンプ、救助艇の現物支給もある。

委員の問　軽微な土砂取り除きへの資機材の貸し出しはできるのか。

答　貸し出しの検討もしている。

委員の問　2級河川と準用河川の堆積土や雑木の除去を行えないか。

答　県と調整しながら対応を行う。

委員の問　9月8日の集中豪雨災害は、平成26年以来の大規模災害であり、被災者に対してどのような支援を行うのか。

答　生活再建支援補助金を検討しており、県への要望を調整している。

※9月15日に要望を行い、9月17日に一般会計補正予算（第4号）にて災害関連の追加提案があった。

○　公共下水道事業および集落排水事業の7会計補正予算

地方公営企業法適用支援事業の予算計上であり、令和4年度までの債務負担行為を含む。

その他

○　まち・みらい課から、地方創生会議における各事業の検証結果の報告を受けた。

決算認定は2～4ページ、災害関連は6・7ページ、その他主な事業は、左のページに特集しています。

災害に備えて心強い応援！

防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業　2100万円

南海トラフ巨大地震などに備え、防災資機材の配備や、周辺自治体との相互支援体制推進のため、Ｂ＆Ｇ財団から助成を受けます。（３年間で最大3900万円）今年度は倉庫や重機の購入をします。

資機材用の防災倉庫

ミニホイルローダー

キャリアダンプ

赤外線カメラ付きドローン

水中ポンプと発動発電機一式

町道の通行確保のために

大比集落が孤立した山腹崩壊（6月28日）

平井１号線災害復旧事業　1300万円

法面の山腹崩壊により、通行止めとなった平井１号線の復旧工事をします。
※延長 28.5 m、法面工、防護柵、舗装など

海部駅の周辺整備に活用

老朽化のため解体される「一宇谷住宅」

一宇谷団地解体および駐車場整備事業　4220万円

築後 50 年が経過し、老朽化した町営住宅一宇谷団地の解体撤去工事を行います。跡地は海部駅周辺駐車場に整備されます。

文教厚生常任委員会

委員長　叶岡　徹

9月14日開会。所管する議案等について説明を受けた。

決算認定

○　令和2年度の当委員会所管の決算報告を受けた。

国民健康保険特別会計は、歳入15億3347万円、歳出決算額14億9258万円であり、保険税収納率82・3％。

後期高齢者特別会計は歳入1億9028万円、歳出1億8869万円、保険料収納率は98・9％。

介護保険料特別会計は、歳入15億8476万円、歳出15億6872万円であり、要介護認定者は783人で、保険料収納率92・8％。

海南病院事業会計では、入院患者が前年度比648人の増、外来患者1689人の減、病床利用率は42・3％。純損失は3794万円であり、他会計繰入金は2億2976万円で、前年度比5523万円の減となっている。

委員の問　今後の医師の確保について、どう考えているか。

答　医師の確保は必要であり、経営まで考えられる医師に来ていただきたい。

委員の問　医師は、地方公務員として採用するため、報酬の面で民間との差が大きく確保が難しい。採用の仕方を見直す考えはないのか。

答　公立病院であり給与規定もあるが内部で検討していきたい。

予算関係

○　一般会計補正予算

民生費

・報償費　［656万円］

敬老会中止に伴う敬老記念品として、クーポン券の配布。

・高齢者福祉施設コロナ対策補助金　［750万円］

3施設へ、資機材購入のための補助金。

・すだち寮改修事業　［350万円］

新型コロナ対策として一室を改修。

教育費

・小学校管理費　［171万円］

・中学校管理費　［196万円］

タブレット端末の保険料、リース料、設定用機器購入費。

・社会教育費委託料　［220万円］

成人式における参加者PCR検査委託料。

・公民館負担補助及び交付金　［210万円］

那佐公民館修繕のための補助金。

・海南文化村需用費　［130万円］

文化村リニューアルオープンに伴うパンフレット等作成費。

・海南文化村委託料　［470万円］

三幸館における飲食提供や物販業務の委託料

委員の問　成人式のPCR検査の周知はどうするのか。

答　出席案内の送付時に周知する。

委員の問　検査費用はすべて町が負担するのか。

答　一人1万円程度であり、町で負担する。

委員の問　タブレットの保険料を全額町で出せないのか。

答　本人過失による負担もあるため、保護者に一部負担をしていただく。

○　特別会計補正予算

海南病院事業会計

・器械備品購入費　［758万円］

コロナ対策用のPCR検査装置、発熱外来用X線装置、酸素濃縮器等の購入。

・工事請負費　［78万円］

オンラインでの面会等のためフリーWi-Fiを整備。

委員の問　医療関係者の退職年齢については延長ができないのか。

答　国にならって改正する。

文化村リニューアルを巡視する議員（令和3年7月26日）

災害支援は6・7ページに、その他主な事業は、左のページに特集しています。

検査費用の負担を減らし、PCR検査を進めます

PCR検査費用助成事業

400万円

自費で新型コロナウイルス検査（ＰＣＲ検査等）を町民の方に、費用の一部を助成します。（自己負担額３千円。町内の医療機関での検査で１人１回に限る。）

新型コロナPCR検査委託料

220万円

成人式を安全安心に開催するため、出席予定者に対して事前にＰＣＲ検査キットを送り、検査を実施します。

新型コロナ感染拡大に備え準備します

［酸素濃縮器を確保］

医療機関支援事業

195万円

民間３医療機関に酸素濃縮器（各１台）の購入を補助します。

医療機関備品購入費

104万円

海南病院、宍喰診療所に酸素濃縮器（各１台）を購入します。

※　各医療機関で保有しておき、コロナ感染拡大により必要になれば、相互に融通し合い、患者に酸素が供給できる体制を整えます。

民間医療機関が購入予定の酸素濃縮器

［酸素飽和度測定器を確保］

パルスオキシメーター購入事業

50万円

パルスオキシメーターを50個購入します。コロナ自宅療養時、連続的に測定することで、いち早い処置につなげることが可能となります。

平常時は、学校や社会福祉協議会で使用し、児童生徒・高齢者等の健康管理に活用していきます。

議案審議

令和3年度 一般会計補正予算

Q1. 新型コロナ対策補助金〔195万円〕

佐川議員

町内の民間3医療機関に酸素濃縮器の購入補助とのことだが5台ではなかったのか。また、コロナ対応ができる病院に置くということか。

大崎福祉人権課長

この3台は、民間医療機関に対しての補助であり、海南病院と宍喰診療所も、それぞれ購入する。3医療機関は、通常は在宅酸素療法に活用し、コロナの影響で酸素濃縮器が品薄になれば、それを活用する体制づくりである。

Q2. 小中学校タブレット整備費〔627万円〕

髙畠議員

タブレットを使った、オンライン授業等は行っているのか。また教員は対応できるのか。

森﨑教育次長

他校との遠隔授業に活用している。また、宍喰小中学校の一貫教育で、ズームを使った発表の予定をしている。教員は、ICT教育部会での研修や、効率的な活用方法を校内研修、模擬授業などで試行している。

Q3. 海南文化村活性化事業委託料〔470万円〕

富田議員

6カ月分ということだが、来年になれば2倍となるのか。また、その詳細な内容は。

森﨑教育次長

三幸館のにぎわい創出事業での運営委託料であり、人件費（パート3人）及び、全体の諸経費として計上している。DMV本格営業が始まり、最終的な見込みができてから、新年度予算は検討をする。

Q4. 観光施設管理消耗品〔300万円〕

長岡議員

マリンジャムで、ぬいぐるみグッズをどのように活用していくのか。また入館者が、ここ数年減少してきていると思うが数字で示してもらいたい。

戎谷商工観光課長

室戸市の廃校水族館でぬいぐるみくじを実施し好評となっている。マリンジャムにおいて、長期にわたっての販売と、収益率が高いものと考え、実施することとなった。

令和2年度の利用者数は、6581人。コロナの休館もあり、非常に少ない数字となっている。

Q5. 災害対策費〔2100万円〕

小山議員

B&G財団からの助成事業とのことだが、ミニホイルローダとキャリアダンプ、その他の品目は指定されているのか。

この機械類は、資格も必要と思われるが、その活用方法は。

奥原危機管理課長

備品購入費1100万円分は、キャリアダンプ、ミニホイルローダなど、町の判断で選定。油圧ショベル、運搬用ダンプ、救助艇は、B&G財団からの現物支給である。

人材育成に300万円の補助もあり、重機の操作講習などを実施予定。

油圧ショベルは、災害初期対応、土砂災害に活用。救助艇は、海部消防組合と連携して活用予定。またドローンについては上空から人員捜索などに使用を考えている。

Q6. 町営住宅解体整備費〔4220万円〕

叶岡議員

一宇谷住宅の解体だが、アスベストとか含まれていないのか。

中内管財課長

調査はしており、一部含まれている。1号棟と2号棟の間の屋根部分であり、手作業により、安全を確保しながら丁寧に処理する。

Q7. 観光電子看板購入費〔125万円〕

東議員

電子看板とはどういうもので、どこに設置するのか。

戎谷商工観光課長

観光に関する写真や動画を、ディスプレイという形で表示する。阿波海南文化村、マリンジャム、その他イベント会場で情報発信をしていくため活用する。

Q8. 補正予算全般について

見吉議員

今回の予算を見る限り、財政改革をするような意図が一向に見えない。各担当とのヒアリングを厳しく査定すべきと考えるがどうか。

浦川総務課長

行財政改革に努めることは、基本方針として変わっていない。今回の補正予算については、新型コロナの臨時交付金の活用とか、新型コロナの感染拡大予防に伴う補正予算が主なものになっており、事業精査は厳しく行っている。

コロナ禍でもがむしゃらに頑張っていく

町長　三浦　茂貴

9月8日の豪雨災害で被災された皆さまにお見舞申し上げるとともに、元の生活に戻れるようできる限りのサポートをしていきたい。今後、今できること、さらには長期的な治水対策を、国、県と協調して進め、安心できる生活環境の整備に努めてまいる。

住み良い町の実現

海南病院に**PCR検査装置**を設置し、民間病院も含め、町内での自費PCR検査に費用助成を行う。また、町内5つの病院に**酸素濃縮器**を導入し、いざという時のため、準備をしていく。併せて、**酸素飽和度測定器**を50台購入し、学校や社協に常備し、感染拡大に備えていきたい。

四国電力に停電対策の要望を行い、重要施設への送電設備の点検や改修、停電の原因となる支障木の伐採、さらには停電に関する情報発信やコールセンターの拡充など、早急な対応をお願いした。

防災行政無線は13年が経過し、更新時期にきている。令和4年度に設計業務、令和5年度から工事施工の予定である。

昨年5月に**風力発電**事業計画が出されてから、海陽町として反対の意向を示し、8月に環境影響評価方法書についても反対の意見書を県知事へ提出した。今後は県の環境影響評価審査会を経て、知事意見が国に提出される流れとなっている。

にぎわうまちの実現

ふるさと納税は4月からの5カ月で2103万円と前年度より約16％増加している。ポータルサイトの拡大、農水省の生産者支援プロジェクト、企業版ふるさと納税など積極的に展開している。様々な事業の財源調達のため、ガバメントクラウドファンディングの活用も予定している。

行財政改革は歳出の削減と並行して、事業精査と積極的な投資、そしてそれを継続するための財源となる歳入の確保を行っていかなければ、持続可能なまちづくりができないと思っている。今後も「ふるさと納税」をどんどん活用して、未来の見える町づくりの推進をしていく。

株式会社**漁火の経営状況**はコロナの第5波の影響により、キャンセルが増え、予約も低迷をしてきている。コロナが落ち着いた暁には、漁火が観光宿泊の核となり、周辺に経済効果が波及するようにしていきたい。

DMV導入事業は先日、四国運輸局による鉄道施設の検査に合格した。6月に指摘を受けた「車輪アームの補強」については、再製作を行っており、安全確認ができれば、「世界初」の本格営業運行を迎えることとなる。始発駅となる文化村をリニューアルし、9月にプレオープンを行った。来る運行開始に向けて、安心安全な受け入れ体制を構築していく。

かいよう応援券セットは利用開始から約2カ月が経ち、各券の利用状況は、商品券55％、飲食券30％、宿泊観光券6％となっている。繁忙期の夏休みやお盆期間にキャンセルが続出し、経営が厳しい町内業者応援のため、ご協力をお願いする。

はぐくむまちの実現

グローバル教育は8月にZoomで実験事業を行い、コロナ禍でも学びを止めない方法を考えている。また、11月には2名の国際交流員CIRを迎える。

海南病院経営改革について、令和2年度はコロナ禍の影響で外来数は減ったものの、入院数は大幅に増え、一般会計からの繰入金も減少してきた。

今後も医師、看護師、管理栄養士、検査技師など、必要な人員確保を行いながら、コロナ禍でも改革検討委員会で示された目標数値をクリアできるように、がむしゃらに頑張ってまいりたい。

飯泉知事に「浸水被害軽減対策の要望書」を手渡す三浦町長
（令和3年10月11日）

町のコロナ感染者への対応を問う

富田　寛　議員

〈福祉人権課長〉
県と連携し支援していく

問　町内で陽性患者、濃厚接触者が発生し、自宅待機、自宅療養となると、家庭内感染を引き起こす可能性がある。できるだけ公共施設等に隔離をする方法が良い。という質問をしていたが、その後検討をしたのか。

自宅療養者は今までにいたのか。また、食事の配達方法は。

答　大崎福祉人権課長

入院施設や療養施設が満床になった状況を想定した場合、町としては公共宿泊施設を提供する方向で検討をしている。

自宅療養者の情報は、県からの情報がなく、町では把握できない。

療養施設を提供した場合の食事は、全て弁当になる。

問　町内6医療機関と連携し、ネットワークの構築をしては。また、パルスオキシメーターやPCR検査装置は用意できたのか。

答　大崎福祉人権課長

医療機関との連携は、県が一括して行うようになっている。

パルスオキシメーターは、補正予算で50台を計上している。

答　谷岡海南病院事務長

PCR検査装置の購入も、計上している。

学校でのコロナ対策については

〈教育次長〉
スクールサポートスタッフの検討をしたい

問　登校時に、各小・中学校の玄関口で教員が検温をしてはどうか。

学級内で、感染者が発生した時の、対応マニュアルを作成しているのか。

答　森﨑教育次長

玄関口での検温は、登校時に入口付近が混雑する。各学校の実態に応じた形での健康観察と、マスク着用、手指消毒の徹底を図っている。

感染の疑いや発生時の、初動対応手順は作成している。

問　学校の負担軽減のため、スクールサポートスタッフを配置してはどうか。

また、教室ごとに空気清浄機は設置をされているのか。

答　森﨑教育次長

新型コロナ感染拡大防止のため、各種工夫をした教育活動により、教職員の負担は多くなっている。県の補助によるスクールサポートスタッフ配置事業があり、内容や対象経費等、今後研究していきたい。

空気清浄機は、基本的に、全普通教室に配置する方向で準備をしていく。

海陽中学校の玄関

高齢者等への避難対策の早期実現を

原　ひろみ　議員

〈危機管理課長〉
研修・研究を行っていく

問　線状降水帯の発生による豪雨災害で、大きな被害が海陽町に集中したが、わずかしか避難者がいなかった。住民への避難意識の浸透が不十分だったのではないか。

危機意識を高める対応策は考えているのか。

また、避難者用送迎バスは出せないのか。

答　奥原危機管理課長

災害は予測できないものであり、広報などで周知に努める。

避難の送迎については、社協などとニーズ調査を行い、体制の構築について研究をしていきたい。

問　高齢者避難は地域のハザードマップに合わせたマイタイムラインを時系列に作るべき。

また、コロナ禍での福祉避難所への受け入れ体制は。

答　奥原危機管理課長

今後は、避難情報の発令内容の理解、タイムラインの定着を目指して、研修を行ってまいりたい。

福祉避難所として、4カ所を指定している。各施設とコロナ対策の協議をしており、必要な備品類の備蓄も進めている。

問　避難時に玄関につる避難カードや首につれる名刺タイプの防災避難カードの導入はできないのか。

答　奥原危機管理課長

避難済カードをつるしておくことは、声かけ時には有効な手段だと思うが、防犯上の問題もある。持ち歩ける避難カードは、有効活用が期待でき、防災のしおりなどにより周知を考えていきたい。

表面

家族（頼りになる人）の緊急連絡先

氏名	連絡先（職場・携帯など）

電話がつながらないときは、171（災害用伝言ダイヤル）
※音声説明あり
自分の居場所を伝える 録音「1」
家族の居場所を調べる 再生「2」

裏面

「災害・避難カード」ーわたしの情報

ふりがな 名前	
性別	血液型
生年月日	
住所	
電話番号	
留意事項	持病、飲んでいる薬など

避難時は、このカードを持って行く！

防災避難カードの見本

高齢者の緊急通報、孤独死防止対策は

〈地域包括ケア推進課長〉
緊急通報装置の活用をしている

問　近年、熱中症や孤独死が増加している。町の緊急通報装置の保有数と使用台数は。また、その使用要件は。

答　長江地域包括ケア推進課長

緊急通報装置は、28台で、うち使用中は22台。使用要件は、65歳以上の一人暮らし、または高齢者のみの世帯、身体的疾患、緊急性の持病等がある方に無料で貸与している。

若年層の介護・看護職への参入増加対策を

〈地域包括ケア推進課長〉
働きやすい環境を考えていく

問　町民が将来に不安を持たないよう介護施設の職員不足対策や支援策を考えるべきではないか。

答　長江地域包括ケア推進課長

介護福祉士試験費用等には、ハローワークの資格取得給付金がある。県社協にも、研修のための貸付制度がある。職場環境の改善策としては、介護ロボットや情報通信機器の導入なども進められており、より働きやすい環境作りを支援していきたい。

自治体としてSDGsの取り組みは

佐川　富美　議員

〈住民環境課長〉
ごみの減量や資源化等様々に取り組んでいる

問　SDGs（持続可能でより良い社会の実現を目指す、17の目標）の目標達成のために、自治体として、また学校教育の中でどのような取り組みをしているのか。

答　森住民環境課長

町内一斉清掃により、海洋プラスチックごみ削減に取り組んでいる。また、生ゴミの減量及び資源化を促進するため、生ゴミ処理容器の購入補助、古紙等回収奨励金や毎週のリサイクル回収も行っている。その他、自然再生可能エネルギーの普及促進のため、住宅用太陽光発電システムの補助金制度を設け、CO2削減にも取り組んでいる。

答　森崎教育次長

小中学校では、リサイクルやゴミの分別等については、環境教育の中に位置づけられ、計画的に学習をしている。

また、環境を意識した清掃活動を実施しており、児童生徒が主体的に環境教育に取り組むことで持続可能な社会の創り手となる児童生徒の育成の第一歩となることを確信している。

防犯灯・カーブミラーの周辺整備を

〈危機管理課長〉
スピード感を持って進める

問　最近ではどこを見ても木が大きく成長し、歩道や防犯灯またカーブミラーに覆いかぶさっているところが多くみられる。それでは役目を果たせない。住民の情報や協力を得て、安心安全に生活できる環境を速やかに整備をお願いしたい。

答　奥原危機管理課長

防犯灯、カーブミラーなどの周辺整備については、職員が気付いた所や周辺の住民からの情報を元に整備をしている。引き続き、スピード感を持って、修繕や点検はもとより周辺の整備についても、しっかりと進めていきたい。

木立の中の外灯

木の葉に埋もれるカーブミラー

小山　慎　議員

避難訓練の見直しが必要でないか

〈危機管理課長〉
工夫を凝らしていきたい

問　毎年12月の津波避難訓練には、若い世代の参加者が少ない。時間帯を変えるなど、工夫すべきではないか。

答　奥原危機管理課長
今年度は、避難所運営訓練、地震体験、消火体験、炊き出しなどの防災イベントを海陽中学校で開催予定。時間帯の変更も含め、自主防や関係機関の意見を踏まえ、工夫を凝らしていきたい。

避難所開設運営訓練（令和２年12月20日）

防災公園の今後の見通しは

〈町長〉
命を守る拠点として、完成を急ぎたい

問　防災公園事業は、宍喰地区の住民にとって大変重要である。早期に完成させる必要があると考えるがどうか。

答　三浦町長
海部野根道路と合わせて、宍喰防災公園の早期完成が急務である。予算も非常に大きいため、県や国の補助もお願いし、早急に完成を目指したい。

海陽町の将来について

〈町長〉
今後も舵取りを担っていきたい

問　合併以降課題であった、重要事業の進捗について、成果と現状の課題は。

答　三浦町長
海南病院は、改革計画を策定して明確な目標を持って進めている。住み慣れた地域で安心して暮らすことができる包括医療の構築に向けて取り組んでいる。
漁火は、コンサルを入れ、労働効率と収益性の高い組織体制を構築してきた。今後は、統括支配人の配置や光熱水費の削減、魅力向上を目的とした設備の改修も検討していく。
合併前からの懸案事項である広域ゴミ処理施設は、調整の結果、現行の場所で処理場を新設するということが決定した。
懸案事項の解決には財源が必要であり、国や県との連携もさらに深めてまいりたい。

問　最大の案件であるコロナ対応全般については、評価できる。来春には町長選挙が控えている。今後も、海陽町の舵取り役として、その重責を担っていく気持ちはあるのか、伺いたい。

答　三浦町長
今後、町の財源不足に真っ向から立ち向かう行財政改革や、今回の線状降水帯災害で再認識した治水対策、南海トラフ巨大地震への対策など、一期では対応しきれない課題を早急に形にしていきたい。
行政の空白が許されないコロナ対応と合わせ、今後も町政の舵取り役として、来春の町長選挙へ出馬をし、私のふるさとへの思いを、さらに町の発展のために捧げていくことを、皆さまにお誓いする。

町営バスの効率的運行を

〈まち・みらい課長〉効率も考えながら利用者のニーズに応えていく

叶岡　徹　議員

問　町営バスについて、未だに住民の意向に添っていない。今回、14名乗車できる車2台購入となっているが、軽四自動車で良いのでは。現在の乗車率はどうなっているのか。

答　中野まち・みらい課長
令和2年度の乗車率は、5路線の平均で、0・89人であるが、曜日や時間帯で乗車数は異なり、最大の乗車数は7人となっている。

問　乗車率は平均したら1名弱であり、経費的に見ても非常に無駄だと思う。コミニュティバス、デマンドバス等いろんな方法があると思う。また軽四自動車だと小回りがきく。町営バスは、住民にとって交通手段として、なくてはならないものである。今後、より良い方策を考えていってほしい。

答　中野まち・みらい課長
今年度購入予定の町営バスは、乗車人数とともに、安全性や燃費、ランニングコストも考慮し、14人乗りを選定している。バスの運行形態については、現在の路線の継続を考えているが、車種選定も含め、コスト、効率も見据えながら、利用者のニーズにも応えていくよう調整もしていきたい。

一方、今後は鉄道や他の公共交通機関との連携も図りながら、海陽町の地域公共交通網の形成を目指し、公共交通でカバーできない部分については、地域での支え合いの形を作っていきたいと考えている。

役場前車庫（海南）に並ぶ大小の町営バス

今以上に高齢者の見守りが必要でないか

〈町長〉安心して生活できるよう考えていく

問　本町では、少子高齢化が進み、一人住まいの高齢者が多くなってきている。今後、一人暮らしの高齢者見守りを、愛情のある町「海陽町」としてどうしていくのか。

答　長江地域包括ケア推進課長
見守り協定65業者と提携を結んでおり、何か変化があれば、連絡が来る。その時には、すぐに包括支援センター、または社協職員、町職員で確認等を行うようになっている。今後さらに連携を強化していきたい。

答　三浦町長
現実に、孤独死がある中で、AI機器による見守りも、研究していければと思う。

また、見回りや相談を専門にできる人員の強化も、考えていかなければならないと思っている。高齢者が住み慣れた場所で安心して生活ができるよう、より良い方法を模索してまいりたい。

みんなの広場　町のご長寿さん

井口 博子さん

浅川字堂ノ本　満100歳
（大正10.9.21生）

自宅玄関にて
（令和3年10月14日）

・元気の秘訣は？

耳は遠いけど目はよく見える。

新聞が友だち。

・日常生活は？

食事、洗濯は自分でする。

何でも食べるが、昔ながらの巻き寿司が好き。

・人生の思い出は？

４人の子育てを人一倍頑張ったこと。

優しい三男と同居している今。

編集後記

自民党総裁選を経て10月4日に、わが国の首相が決まりました。これまでの様々な重要課題を解決し、国民の生命と財産を守り、新しい日本をスタートさせてほしいと思います。国内では、新型コロナウイルス感染者数が大幅なペースで減少する中、ワクチンが行き渡った後の行動制限緩和についての議論が行われています。新リーダーには、特にコロナ対策に対し、これから冬の流行「第6波」を見据え、以前の経済や、社会活動を取り戻す道筋をつくってもらいたいものです。議会だよりも、審議の内容を分かりやすく町民のみなさんにお伝えし、これからも、創意工夫を重ね、みなさまに親しまれる広報誌となるよう努めてまいります。ご意見ご要望をお寄せいただければ幸いです。

（小山）

琉球朝顔（大里にて）